

「あなたのためのおべんとう」コンクール実施要項

1 目的

- (1) 中学校の技術・家庭科で学習した内容を生かし、お弁当づくりを行う。その成果の発表を通して知識や技能の向上を図り、よりよい食生活を目指そうとする意欲を育てる。
- (2) 普段通りの日常生活(ケの日)の中で、食べてもらう相手のことを考えたお弁当づくりを通して、身近な人とのかかわりの大切さや「食」の重要性を知る。
- (3) コンクールを通して、参加者が互いの工夫点や技能を学び合い、中学生の交流の場とする。

2 主催

栃木県中学校教育研究会技術・家庭部会

3 日時

令和6年11月3日(日・祝) 8:00～

4 場所

さくら市立氏家中学校

5 参加資格

栃木県中学校に在籍する生徒で、校長が参加を認めたものとする。

6 競技内容

第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア「あなたのためのおべんとう」コンクールの競技ルールに準じて、栃木県予選会を実施する。

(1) 課題

「あなたのためのおべんとう」

(2) 審査方法

- ・地区大会および県予選：レポート
- ・本選：レポート、調理、プレゼンテーション

7 競技方法

- (1) 1グループ1～2人でのグループ競技とする。
- (2) 地区大会通過者を対象に予選会(レポート審査)を行い、本選出場者を決定する。
- (3) 本選において成績が優秀な1グループを、全国大会へ推薦する。

8 レポート・競技について

(1) レポート

ア レポート用紙の書式等は、全日本中学校技術・家庭科研究会 HP よりダウンロードして使用する。

※全日本中学校技術・家庭科研究会 HP<https://ajgika.ne.jp/>

イ 記載されている記入等の注意をよく読み、記入もれがないようにする。

ウ 学校名・チーム名・生徒氏名・弁当の名等にふりがなをふる。

エ 2群については、各食品の重量で表記すること。(牛乳に換算しない)

オ 主食がご飯の場合、米またはご飯の重量のいずれかを明記する。

カ 使用する弁当の写真は真上から撮影する。その際、背景は必ず白とする。

キ レポート用紙と材料表については、コピーしたものの送付する。綴じ込む際には、左上をステープラー止めておく。(原本送付禁止)

(2) 材料

- ア 規定課題「魚を使った料理」を主菜とする。魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でもかまわない。ただし、甲殻類（エビ、イカ、カニ）は規定課題とみなさない。
- イ お弁当を食べる対象者を具体的に設定し、年齢・性別をレポート用紙に明記する。対象者にあった分量・材料・調理方法などを工夫する。
- ウ お弁当は、チームの人数分＋試食用1名分をつくる。
- エ 材料費の目安は1人分980円以内とする。
(チームの人数分＋試食用1名分) × 980円(税込み)
- オ 競技当日の材料は、各自で用意する。
- カ 次の調味料は、会場に用意したものを使用する。
【砂糖・塩・酢・醤油・胡椒・植物油・酒・みりん・小麦粉・片栗粉】
上記以外の特別な調味料は、各自で準備する。
- キ 各自で準備する調味料の計量は、競技時間内に行う。
(あらかじめ分量を量り、小分けにしない。)

(3) 競技時間

- ア 調理の下準備・調理・片付けも含めて100分以内で行い、弁当箱の蓋を閉めた時点で終了時間とみなす。
- イ 洗米・吸水・乾物のもどし・豆腐の水切りなども競技時間内に行う。
- ウ 調理用具、調理台、流し台の片付けおよび掃除（ゴミ処理）も、競技時間内で行う。

(4) 用具

- ア 弁当箱と小物は、お弁当として持ち運べる容器を各自で選び、持参する。また、色・形・大きさは、食べてもらう相手に合ったものを使用する。(皿等への盛り付けは認めない)
- イ 弁当箱はチームの人数分を、小物は、チームの人数分＋試食用1名分を持参する。
- ウ 調理用具は、会場に設置されているものを使用する。(特別な用具等は持参してもよい)ただし、包丁は安全面を考慮し、持ち込みは禁止とする。(出刃包丁は会場に用意してある)
- エ 布巾(食器用2枚・魚用1枚)、台布巾、食洗用スポンジは、本部で用意したものを使用する。(替えの用意有)
- オ 各調理台に、炊飯器1台と、電子レンジ・オーブンが備え付けられている。電子レンジ・オーブンは、兼用のため、同時に両機能を使用することはできない。なお、オーブントースター機能は無い。
- カ 安全面・衛生面を考慮し、調理台の上に市販のラック等を使い、用具等を置くスペースを増やすことは禁止とする。
- キ 材料や道具等を事前に会場へ送ることはできない。全て当日に持参する。
- ク 調理用具や調理台等は、全日中のWebページを参照する。

(5) プレゼンテーション

- ア 競技終了後、審査委員の前で完成したお弁当を置き、1分間のプレゼンテーションを行う。
- イ プレゼンテーションの内容も審査の対象とする。
- ウ 原稿は、事前に用意しておくこと。
- エ 競技終了後、すぐにプレゼンテーションを行う。そのため、プレゼンテーションに使用する物は、食材などと共に会場へ持ち込んでおく。(使用するボード等は手で持つ。ホワイトボード等は準備できない)
- オ 発表時は、競技会場に設置されているマイクを手で持ち、使用する。
- カ ICT機器を利用する場合は、会場に設置してあるものを利用することができる。会場には、液晶テレビとWindowsの学習用端末を用意してある。
- キ 会場の学習用端末を利用する際は、プレゼンテーションのデータはPowerPointの形式で作成し、本選当日にUSBメモリ等のデバイスに入れて持参する。(会場に用意してある端末がWindowsのため)

なお、Chromebook の「Google スライド」などで作成した場合には、PowerPoint のデータに変換したものを持参すること。その際、事前に動作確認を行っておくこと。（アニメーション等の動作が乱れる可能性がある）

ク 生徒が使用している学習用端末を用いる場合には、以下のことに注意する。

(ア) 学習用端末の画面は小さいので、必ず会場の液晶テレビに接続して発表を行う。液晶テレビには通常の HDMI ケーブルが接続されているので、このケーブルを利用して接続する。端末が直接接続できない場合は、各自で変換アダプターを用意して接続する。

(イ) インターネットへの接続が必要な場合は、各自で接続機器（モバイルルータ等）を用意し、接続環境を構築すること。なお、会場校のネットワークへは接続できない。

8 審査

第 24 回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

「あなたのためのおべんとう」コンクール 栃木県大会実行委員会 が行う。

9 表彰

「県教育長賞（最優秀賞）」

「県技術・家庭部会長賞」

「審査員特別賞」

「優秀賞」

の各賞を授与する。

「県教育長賞（最優秀賞）」を受賞したグループを全国大会へ推薦する。

また、地区大会を通過して予選会に参加したグループには「優良賞」を授与する。

10 申し込み

地区ごとに代表者を決定し、担当者(フェア部員)が予選会に持参する。

・予選会

日 時 令和 6 年 1 0 月 1 日(火)〇〇時～

会 場 さくら市立氏家中学校

予選を通過したグループに関しては、応諾書を PDF ファイル化し、申込書 (Excel データ) とともに、担当者へメールで送付すること。その際、ファイル名を以下のルールに則して付けること。結果として、添付する 2 つのファイル名は同じとなる。また、送信の際、他のメールとの混乱を避けるため、件名もしくは表題を「栃木県ものづくり教育フェア申し込み (〇〇学校)」として送信すること。なお、応諾書の原本は、当日受付に提出すること。

例) 表題: 栃木県ものづくり教育フェア申し込み (山前中学校)

添付ファイル名: 4_山前_真岡花子.xlsx (申込書)

4_山前_真岡花子.pdf (応諾書)

※先頭の「4 (半角)」を忘れずに入れること。この数字でフェア事務局は部門を判断している。

※添付するファイル名 (PDF・EXCEL 共通) のルール

・ 1 人で参加の場合 4 (半角) _学校名_氏名 (フルネーム) 例: 4_山前_寺内ひかり

・ 2 人で参加の場合 4 (半角) _学校名_作品名 (略称可) 例: 4_山前_応援弁当

※応諾書は、1 つのファイルに 2 名分入れてください。

注: ファイル名中の「_」は、半角アンダーバーです。ご注意ください。

11 問い合わせ先

おべんとう部門担当

那須塩原市立黒磯北中学校 佐藤ひかる

TEL 0287-60-1202 FAX 0287-62-6181

メール: jhs-kuroisokita@city.nasushiobara.ed.jp